



国名	マラウイ共和国 (Republic of Malawi)
面積	118,484平方Km (日本の約1/3)
人口	1,756万人, 人口増加率2.9% (2018年: マラウイ国勢調査)
首都	リロングウェ
独立	1964年7月6日
公用語	英語, (国語: チェワ語)
政体	共和制
大統領	アサー・ピーター・ムタリカ

Homepage www.japan-malawi.org
 Email info@japan-malawi.org
 Facebook facebook.com/japan.malawi
 Twitter twitter.com/JpMalawi
 YouTube Malawi Society of Japan

日本とマラウイ両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的とする任意団体。1983年2月26日設立。

入会ならびに会費納入のお願い

当会は、会員が納入する会費により運営を行っております。会の目的、活動内容に賛同される方々のご入会、会費納入をお願い申し上げます。

区分	入会金	年会費	備考
正会員	1,000円	3,000円	
賛助会員	0円	1,000円	郵便物の送付なし
団体会員	3,000円	10,000円	公的・非営利団体
法人会員	10,000円	30,000円	協賛企業

ホームページからお申込みいただく方法が最も簡単ですが、集いなどの受付でもお申込みいただくことも可能です。

※年会費のオンライン支払はホームページをご参照ください。

方法	口座など
銀行振込	三菱UFJ銀行 東恵比寿支店 (普) 0255739「日本マラウイ協会事務局 貝塚」
郵便振替	ゆうちょ銀行 〇一九店 (ゼロイチキウ店) (当) 0013125「日本マラウイ協会」 ゆうちょ銀行送金: 口座番号00190-7-13125

お台場で開催のグローバルフェスタに本年も出展参加します。

りんかい線「東京テレポート駅」から徒歩1分、ゆりかもめ「青海駅」から徒歩3分、お台場海浜公園駅 から徒歩7分。



～ 草薙康子さん, ルイ・ンテンダさんの共同研究～
マラウイ派遣JICA海外協力隊
 (青年海外協力隊員, シニア隊員, シニア海外ボランティア, JICA短期ボランティア) **OB・OGの方へ!**
アンケート, お済みですか?
research.net/r/volmalawi

【日本マラウイ協会 Malawi Society of Japan】



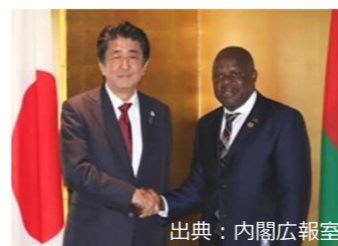
KWACHA

<http://www.japan-malawi.org> info@japan-malawi.org

TICAD7 が 8/28~30 横浜で開催。 マラウイから政府代表団が来日されました!

TICAD7 (第7回アフリカ開発会議) マラウイ政府代表団の方々

TICAD (Tokyo International Conference on African Development/アフリカ開発会議) は1993年以降、日本政府が主導し、国連、国連開発計画、世界銀行及びアフリカ連合委員会と共同で開催している国際会議で、今回、42名の首脳級を含むアフリカ53か国、52か国の開発パートナー諸国、108の国際機関及び地域機関の代表並びに民間セクターやNGO等市民社会の代表等、10,000名以上が参加して、初めて日アフリカ官民の直接対話を実施するなど、新時代に向けた活発な討議、交流が行われました。



出典: 内閣広報室

マラウイの政府代表団の団長であるヴァートン・チムリレンジ・マラウイ共和国副大統領は8月30日、横浜で安倍晋三内閣総理大臣を表敬訪問されました(写真)。



Right Hon. Everton Herbert Chimulirenji (Vice President of the Republic of Malawi) エヴァートン・ハーバート・チムリレンジ (マラウイ共和国副大統領)



Hon. Francis Kasaila M.P. (Minister of Foreign Affairs and International Cooperation) フランシス・カサイラ (外務及び国際協力大臣・国会議員)



Hon. Ibrahim Salim Bagus M.P. (Minister of Industry, Trade and Tourism) イブラヒム・サリム・バガス (産業貿易観光大臣・国会議員)



Hon. Ralph Jooma M.P. (Minister of Transport and Public Works) ラルフ・ジョーマ (交通公共事業大臣・国会議員)



出典: 内閣広報室

マラウイ副大統領から貝塚宗光専務理事に感謝状が贈呈されました。



出典: Malawi Voice

代理で感謝状を贈呈される野呂会長 (右)

当会主催催事「マラウイを語る集い2019」(詳細は2ページ, 3ページを参照)の開会・特別セッションにおいて、マラウイ共和国副大統領から、貝塚宗光専務理事へ感謝状が贈呈されました。

貝塚専務理事は、1971年にマラウイ共和国へ最初に派遣された7名の青年海外協力隊の隊員の一人であり、また、帰国後当会を創立したメンバーであって、隊員としての活動、帰国されてから長年にわたる両国との関係強化などの貢献から感謝状 (Certificate of Appreciation) が贈られたものです。

当日、専務理事が別件のため欠席していたため、野呂元良会長が代理で副大統領から感謝状を受け取られました(写真/マラウイのWebニュースから)。

DATE & TIME 日時
2019年8月31日 (土) 10:00~18:00
VENUE 会場
JICA地球ひろば

Japan-Malawi Forum 2019 マラウイを語る集い2019

Conquering Quest for SDGs and the Prosperous Future of Africa

SDGsとアフリカの豊かな将来に向けた果敢なる挑戦



(敬称略)

TICAD7開催記念、日本マラウイ協会主催、駐日マラウイ共和国大使館及び青年海外協力協会共催（外務省他6団体後援）の「マラウイを語る集い2019」が8月31日（土）東京都新宿区のJICA地球ひろばで開催され、マラウイ政府代表団からチムリレンジ副大統領、カサイラ外務大臣に登壇・スピーチをいただき、紀谷外務省TICAD7大使の来賓スピーチも加って、盛大に執り行われました。1980年代にカサイラ大臣にマラウイで理数科を教えた青年海外協力隊の二人の教師とのサプライズ対面、記念シンポ、東京2020&スポーツセッション、若者・教育セッション、IYCO & KAKA FURAHAのライブステージ、晃華学園中学校、清泉女子大学をはじめとする多数のマラウイとの交流事例展示発表、さらに懇親会（シマを食べる会）と盛沢山の「マラウイ・デイ」開催となりました。

HOST 主催
日本マラウイ協会
CO-HOSTS 共催
駐日マラウイ共和国大使館
公益社団法人日本青年海外協力協会
SUPPORTERS 後援
外務省
独立行政法人国際協力機構
JICA地球ひろば
一般社団法人アフリカ協会
一般社団法人アフリカ開発協会
特定非営利活動法人アフリカ日本協議会
SPONSORS 協賛
三菱商事株式会社
丸紅プロテックス株式会社
合同会社エヌエスコポーレーション



主催挨拶 野呂会長 来賓挨拶 紀谷TICAD7大使 Banda大使 Kasaila外相 Chimulirenji副大統領 副大統領特別講演 西岡副会長 塚田元隊員 Kasaila外相 松岡元隊員 カサイラ大臣と二人の元隊員との対面 スライド 佐藤教授 基調講演

野呂会長スピーチ要点

マラウイ政府の取組への期待（私的提案）

1. 電力・エネルギーなどのインフラ充実
「ビジョン2020」は来年終了となるが、電力・エネルギーは工業振興に必須であり、たとえば、 Cahbora Bassa Projectとの連携も検討の価値があると考える。
2. 第二のエネルギー源の確保
パイプラインを用いた石油や天然ガスの確保なども、探るべき課題である。
3. 運搬コスト削減
日本や中国といった諸外国との輸出入で運搬費のコスト高となっている現状改善
4. 青年海外協力隊員派遣50周年（2021年）までに実施すること

- 1) マラウイの物故隊員のための慰霊碑建立
- 2) 草苺・ンテンダ両氏の70歳以上への協力



TICAD7 記念シンポジウム 東京2020&スポーツセッション マラウイ協力隊研究進捗報告



若者・教育セッション IYCO & KAKA FURAHA & Estiner Katengeza (東京大) 音楽・ダンスを楽しむ参加者 (左: C. Kibombwe MITCディレクター)



晃華中学校3年生 マラウイ関連の活動報告展示会

活動報告展示会出展者（申込順）

- 【1】川崎 友紀子（鳴門教育大学）
- 【2】高瀬 夏子（清泉女子大学）
- 【3】晃華学園中学校生
- 【4】永岡宏昌
（（特活）アフリカ地域開発市民の会）
- 【5】山田 真人（NPO法人せいぼ）
- 【6】田村 美津子（東かがわチャレンジクラブ）
- 【7】仲井 利明
（合同会社エヌエスコポーレーション）



懇親会（シマを食べる会）での集合写真

●開会・特別セッション● 10:00~
主催挨拶：日本マラウイ協会会長 野呂元良
来賓挨拶：紀谷雅之部（外務省TICAD7大使）
共催挨拶：グレンゲル・バンダ（駐日マラウイ大使）
プレゼン：C. Kibombwe MITCディレクター
スピーチ：F. Kasaila外務大臣
特別講演：E. H. Chimulirenji副大統領

●基調講演● 11:40~
佐藤哲（愛媛大学教授）「豊かな自然資源の統合管理を通じたマラウイの持続可能な開発」

●TICAD7記念シンポジウム● 13:00~
黒河内康（元在タンザニア日本大使）
渡邊泰明（三菱商事地域開発部長）
萩生田愛（AFRIKA ROSE代表取締役）
佐藤哲（愛媛大学教授）
司会：西岡周一郎（日本マラウイ協会副会長）

●東京2020&スポーツセッション● 14:00~
清水聖義（群馬県太田市市長）
中村元樹（元マラウイ・プロサッカー選手）
櫻井里奈（元青年海外協力隊マラウイ派遣隊員）
司会：草苺康子（日本マラウイ協会理事）
マラウイ協力隊研究進捗報告
（草苺康子理事、Louis Nthenda博士）

●若者・教育セッション● 15:00~
【1】Mun'delanji C. Vestergaard (Kagoshima University), "Science-driven Sustainable Development: Cultivating Stakeholders Synergy",
【2】Chrispin Mahala Manda (University of Tsukuba), "Emerging problem of diabetes and hypertension in Malawi: a call for realigning the health sector to achieve SDGs",
【3】Fred Sato (Sophia University), "Towards the Successful Achievement of SDG4: Envisioning the Illiteracy Fight in Malawi"

●ライブ音楽 by IYCO & KAKA FURAHA● 16:00~
「手をつないで」(in Chichewa with Estiner Katengeza), 「雨・土・風 Tumaini」(Rain, Earth, Wind ~Tsunami~), etc.
IYCO (Lead Vocal), YUKA (Chorus), FUYUKI (Guitar), Masa G (Percussion)

●懇親会シマを食べる会● 16:40~18:00